

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市金剛沢児童館		
2 指定管理者	労働者協同者組合ワーカーズコープ・センター事業団		
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 23,975人(前年度比 118.3%) 令和5年度 20,262人 令和4年度 15,375人		
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業		
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 41,917千円 (43,049千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)		
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、地域懇談会、児童クラブ保護者会を実施。		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	31/31
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。 なお、職員における虐待や不適切な対応を防止する取り組みについてのマニュアル「職員における虐待等の不適切な行為に対する対応について」を作成し、職員会議やOJTを開催して職員間で周知共有し、子どもの人権に十分に配慮するとともに、子ども一人ひとりの人格を尊重して支援が行われている。	19/18

三 評価総括

《指定管理者（労働者協同者組合ワーカーズコープ・センター事業団）による自己評価》
児童館名：仙台市金剛沢児童館 今年度は「日本文化に触れる1年にしよう」という目標をたてて運営してきました。また「みんなのえがお輪和笑」をキャッチフレーズにこどもまん中を目指した1年でした。 児童健全育成事業：小学生だけではなく中学生の自由来館も多かったです。学校には行けないが児童館なら、と朝から来館し遊戯室で運動をして帰っていく児童もいました。 子育て家庭支援事業：乳幼児の自由来館数が伸び悩む中、季節を感じられる活動、子育て支援クラブとの共催など保護者のニーズに合わせた活動をおこなってきました。児童館で出会い親子でお友達になれる活動を目指し今後も利用者の声に耳を傾けていきます。 地域交流推進事業：こどもの発達に悩んでいる親の集まり「つぼみ会」や学校に行かない選択をしたこどもの親の集まり「ブルームルーム」を定期的に開催しました。また地域で活動をしている団体と連携しこどもたちと共に環境美化活動をおこないました。「小さな芸術祭」の際はこどもたちが学校の先生方、地域の方々に招待状を手渡し多くの来館者があり「ほめーる」に記載されたお褒めの言葉に感激している姿もありました。放課後児童健全育成事業：年2回書初めをおこないました。初めて筆を使った子もいましたが、大作が完成しました。”危険なことを体験しよう”ということで針が1本でもなくなったら即解散という約束のもと「ちくちくの会」を発足し、クロスステッチを中心におこないました。また近隣グループホーム訪問を目指して「ウクレレキッズ」を継続しました。季節を感じられる制作活動はいつも好評でみんなの頑張りを館内装飾としました。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
児童健全育成事業においては、季節の工作や運動遊びなどこども達の興味関心を広げる様々なプログラムを提供し、遊びを通してこどもの育ちを支援している。また中高生タイムの土曜日に加えて、平日にも中学生の定期的な利用が増え、日常的に小学生と交流している。学校に通えないこどもが午前中に来館して過ごす様子も見られ、児童館がこども達にとって居心地のよい居場所になるよう環境を整えている。 子育て家庭支援事業においては、乳幼児親子向けの幼児クラブや行事を定期的に開催している。また「ママのリフレッシュタイム」ではクリスマスリースや手形足形アートなどの制作後にティータイムを実施したり、親子がゆったり昼食をとれるような空間を設けるなど、参加者がリラックスしながら仲間作りや情報交換ができるよう支援している。 地域交流推進事業においては、市民センターと連携して「西多賀今昔カルタ」を使ってかるた大会を行い、こども達が自分の住んでいる地域の歴史を学び興味関心を持つきっかけになった。また、PTAの祭りに児童館として参加したり、近隣保育園への「ハロウィンパレード」、近隣公園の環境美化活動、地域の方々を招いての「小さな芸術祭」などを通して地域との交流を広げ、こどもが地域と関わりながら育つ環境作りに努めている。 放課後児童健全育成事業においては、天候の良い日には外遊びを多く取り入れ、こども達の心身の健康増進に努めている。また動物園や三神峯公園へのハイキング、畑で作物を育てるなどの自然体験や、季節の工作や手芸など、様々な経験が出来るよう工夫し、これらの活動を通してこども達の主体性や豊かな人間性、自ら学び考える力を育てている。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課